



JRC登録式を行いました

5月30日(火)の朝行事にJRC登録式を行いました。このJRCとは、青少年赤十字のことで、Junior Red Crossを略してJRCと言っています。

今年のJRC登録式は、4年ぶりに全校児童が体育館に集まって行いました。会の進行やJRCについての説明、誓いの言葉等を代表委員が中心になって行いました。

JRC登録式で校長が全校児童に話した内容を紹介します。



今、私たち南小学校の全員が、青少年赤十字の一員であることを改めて確かめました。青少年赤十字は、世界の人々が幸せに暮らせるよう、皆さんが行動することを期待しています。

代表委員の皆さんから青少年赤十字の3つの目標(健康・安全、奉仕、国際理解・親善)の話がありました。健康安全は、命と健康を大切にすることです。命はもっとも大事なものです。自分の命と健康を大切にするとともに、みんなの健康を守り、人間尊重の精神を育てていきましょう。

奉仕は、人のために頑張ることです。私たちはたった一人で生きているのではなく、社会の一員として生きています。自分が今、人のために何ができるかを考え、できることからがんばりましょう。

国際理解・親善は、誰とでも仲良くするという事です。私たちは、世界の国々とのつながりの中で生活しています。外国の人々やその国のことについて正しく理解し、交流を深めることは大変重要です。南小ではいろいろな国のお友達がいますから、お互いがいろいろな国のことをよく知ることができると思います。

この目標を達成するために、問題に「気づき」、問題を解決するために自分から「考え」、仲間と協力して一歩ずつ「実行する」ことが大切です。

- ・授業中、トイレに電気がついていたら電気を消す。
- ・校舎や校庭にごみが落ちていたら拾って捨てる。
- ・一人でいる友だちがいたら、声をかけて一緒に遊ぶ。
- ・体調が悪い友だちがいたら、保健室に連れて行ってあげる。

青少年赤十字の活動は、「これをしなければならない」といった義務のようなものではありません。身近に困っている人や助けを求めている人を見つけたら、その気持ちを思い、どうすればよいかを考えて、積極的に行動することも、青少年赤十字の精神に則った行動といえます。まずは、身近にいる南小のお友だちに目を向けていきましょう。

租税教室がありました

6月6日(火)に外部講師をお招きし、6年生を対象に「税の使いみち」、「税の役割」、「税の必要性」等について分かりやすくお話をしていただきました。社会科の学習で政治について学習していることで、子どもたちは税について学んでいましたが、講師の方の説明で税について深く理解をすることができました。特に、「マリンとヤマトの不思議な日曜日」というビデオを視聴したことで、毎日の暮らしの中で税がどのようなところに使われていて、税がないとどのようなことになってしまうのかとすることを具体的に知りました。



租税教室の後に4名の児童が書いた感想を紹介したいと思います。

- 1 きょう、租税教室がありました。税金がいかに大切なのが分かりました。それに税金がなくなったらどうなるのかなんか考えたことなんてありませんでした。でも、DVDを見て税金がなくなったら、とても困るといのが分かりました。
- 2 租税教室で見たビデオ、アニメは税金について改めて6年生として考え直すきっかけになりました。自分が大人になった時、税金を納める時が来るので、その時にしっかり税金のことを理解し、納税できるようにしていきたいと思いました。
- 3 昨日は、租税教室がありました。社会で税金の勉強をしていたので、何となくは知っていたけど、税金がなくなったら、道路もお金がかかってしまうことが分かりました。普段通る通学路も税金でできているし、教科書も税金で大切に扱わなきゃいけないことが、この租税教室で学びました。
- 4 わたしは租税教室をして税金はなくなると交通料をとられたり、公園がなくなったりゴミが捨てられたままになったり、交番や消防署、救急車にもお金がかかったりするんだなとびっくりしました。なんで税がかかるんだろうと思ったことがあったけど、税金は国をよくするためにあって、税金は大切なんだなと思いました。

読み聞かせ研修会を開きました

南小で読み聞かせをしていただける方を南公民館だよりで募集したところ、地域の方で新たに4名の方がやって下さることになりました。そこで、学校で読み聞かせをしていただく前に、読み聞かせ研修会を5月30日と6月6日に行いました。講師には南公民館で朗読を指導されている方をお願いをし、読み聞かせをするときのポイントを指導していただきました。南小では、いろいろな方の協力を得ながら、子どもたちの教育活動を進めて行きたいと思っています。

